



期間

2日間



形式

オンライン
講師主導型

または

対面クラスルーム
形式



プログラムのレベル

中上級

受講条件

なし

事前準備

なし

CPEクレジット

16

言語

英語

概要

環境、社会、ガバナンス(ESG)に関連したさまざまなリスクについての議論は一段と重要性が増し、その流れは新型コロナウイルスによりさらに助長されています。企業は、商慣習を変えつつある行動や習慣の変化に対応しています。銀行は、さらに切実に、融資および資産運用の両方の観点から、次々と明らかになる資産価値の変化の危機とそれに関連する信用リスクの管理に追われています。

このコースでは、ESGの考慮事項に特に焦点を当て、サステナブルファイナンスおよび投資に対する理解を促進します。信用分析や信用ポートフォリオ管理に対するこれらの適用可能性に焦点を当てた議論を行います。また、ESGの重要パフォーマンス指標(KPI)と質、持続可能な開発目標(SDG)の影響力、二酸化炭素(CO2)スコープ、気候リスクの予測、エンゲージメントと議決権行使、国連の責任投資原則(UN PRI)報告、および今後の規制を含む、重要な概念に関する背景についても説明します。

このコースでは、これらのトピックの関連性と重要性を明らかにします。ケーススタディでは、銀行や資産運用会社が存続し、繁栄し、顧客を保護するために実施している内容について議論します。このコースでは、この成長分野における広く深い知識を提供します。

学習目的

このコースの修了時には、以下が行えるようになります。

- » 銀行の融資残高の価値を含む、銀行の資産ポートフォリオの価値の保護
- » より持続可能な観点に立った投資および融資に関する健全な意思決定の実施
- » ESG関連の課題に関連したリスク、特に信用リスクの管理
- » ESGの質、SDGの影響力、およびCO2に関する分析を含む、信頼性のあるサステナビリティ・リサーチのアンダーライティングおよび資産運用業務への適用
- » ESG/SDG/CO2データセットに関連した品質の問題の解釈と克服
- » アンダーライティングおよび資産運用業務におけるサステナブル・リサーチ、投資、および選定プロセス (ESG/SDG分析からエンゲージメント、議決権行使、および報告に至るまで) の実施
- » PRI報告書の作成 (PRIの全署名機関は作成義務あり)。
- » 銀行、ファンド、融資残高、資産運用会社に関する透明性のあるサステナビリティレポートの作成

対象

- » ポートフォリオ/アセット/ファンド・マネージャー
- » クレジット・アナリスト
- » 格付アドバイザー
- » 株式アナリスト
- » 信用リスクの専門家
- » 資産保有者
- » 投資銀行家と商業銀行家
- » 金融規制当局
- » 銀行監督当局

オンラインでの配信

オンラインのコースは、地域を問わず、どこからでもアクセスいただけます。ただし、地域固有のコンテンツを含む一部のコースは、その主催地に基づいた内容となります。例えば、東部標準時の午前 10時に開始するコースは、米州が主催地となるため、IFRSではなくGAAPについての言及が含まれる場合があります。各地域に関連するコンテンツに関するご質問は、learningsolutions@moodys.com までお問い合わせください。

コースの詳細

モジュール		
1	イントロダクション	
	1 ESGケーススタディ <ul style="list-style-type: none">» ESGリスクによるマイナス影響を受けた企業の例» ケーススタディ: Vale» ケーススタディ: Ali Enterprises» ケーススタディ: Volkswagen	
	2	環境リスク
		2 環境リスク入門 <ul style="list-style-type: none">» 環境リスクの説明» ケーススタディ:自ら選択した関連するケースに関するグループワーク» 環境リスクの課題の主な種類の特定
3 環境リスク管理の重要性 <ul style="list-style-type: none">» 金融機関にとっての環境リスクの戦略的重要性の説明» 環境リスクの影響 (直接、間接的な責任と評判への影響) の説明		
4 環境リスクの軽減 <ul style="list-style-type: none">» 融資取引における環境リスク (データ、環境デューデリジェンス、コベナンツ、条件等)の評価方法に対する理解» 金融機関による融資ポートフォリオの環境リスクの軽減方法の説明		
5 気候変動リスクの計測と管理 <ul style="list-style-type: none">» TCFDの勧告に対する理解» 気候リスク計測のためのさまざまなツールの説明		
3	社会リスク	
	6 社会リスク入門 <ul style="list-style-type: none">» 社会リスクの説明» ケーススタディ: 自ら選択した関連するケースに関するグループワーク» 社会リスクのこれまでの変化についての説明» 社会リスクの課題の主な種類の特定	
	7 社会リスク管理の重要性 <ul style="list-style-type: none">» 社会リスクの戦略的重要性の説明» 社会リスクがビジネスや金融機関に与え得る影響の説明	
	8 社会リスクの軽減 <ul style="list-style-type: none">» 融資取引における社会リスク (データ、社会デューデリジェンス、コベナンツ、条件等)の評価方法に対する理解» 金融機関による融資ポートフォリオの社会リスクの軽減方法の説明	

4	ガバナンスリスク	9	ガバナンスリスク入門 <ul style="list-style-type: none"> » ガバナンスリスクの説明 » ケーススタディ: 自ら選択した関連するケースに関するグループワーク » ガバナンスリスクのこれまでの変化についての説明 » ガバナンスリスクの課題の主な種類の特定
		10	ガバナンスリスク管理の重要性 <ul style="list-style-type: none"> » ガバナンスリスクの戦略的重要性の説明 » ガバナンスリスクがビジネスに与え得る影響の説明 » ガバナンスリスクが金融機関に与え得る影響の説明
		11	ガバナンスリスクの軽減 <ul style="list-style-type: none"> » 融資取引におけるガバナンスリスクの評価方法に対する理解 » 金融機関によるガバナンスリスクの軽減方法の説明
		12	ESGの信用格付への影響 <ul style="list-style-type: none"> » 信用格付機関がESG格付・リサーチ会社を買収・統合している背景に対する理解 » 中央銀行および政策機関(EU)の規制当局との実際の議論。ESGの質が低いほど、より多くの資本が必要。 » ケーススタディ: ドイツ連邦銀行(Bundesbank)による直近の要件
6	ESG 要因を含む 定量信用格付モデル	13	判別分析に対する理解
		14	ケーススタディ: 定量信用格付モデルの適用
		15	データ品質の重要性に対する理解
7	新たなESGの課題と 規制	16	SDGの影響力 <ul style="list-style-type: none"> » 持続可能な開発目標の説明 » SDGの影響計測手法の説明
		17	現代奴隷法 <ul style="list-style-type: none"> » 現代奴隷と現代奴隷法の説明 » 現代奴隷が金融機関に与え得る影響についての説明
		18	赤道原則と報告 <ul style="list-style-type: none"> » 赤道原則の説明 » このフレームワークに含まれる重要な原則に対する理解 » 赤道原則の適用対象と報告要件の特定 » 赤道原則の金融機関の融資活動への影響の評価

8 ESG原則の
ビジネスへの統合

- 19 サステナブルファイナンス
 - » サステナブルファイナンスの説明
 - » 投資家、債務者、および金融機関がサステナブルファイナンスに関心をもつ理由に対する理解
 - » サステナブルファイナンスの仕組みと、ESGデータを含む、市場参加者にとって重要な考慮事項の説明

- 20 責任ある融資と投資
 - » 金融機関と投資家が、基本的なESGの原則を超えて、いかに顧客の公平な取り扱いと投資リスクの管理に注力しているかの説明
 - » 金融機関と投資家が、間接的なESGリスクを軽減するため、そのサプライチェーンやステークホルダーとの関係をどのように管理しているかの説明

- 21 ESG戦略と方針の織り込み
 - » 金融機関におけるESGデータ分析および戦略のビジネスへの織り込み方法の理解
 - » 効果的なESG方針とその金融機関のリスク管理フレームワークへの織り込み方法の説明
 - » ケーススタディ: 自社のESG方針の設計
 - » 取締役会による監督の改善がいかに金融機関のガバナンスリスクを軽減し得るかについての説明

- 22 PRIの署名機関になるための要件と維持するための要件

認定

ムーディーズ・アナリティックスは、継続的専門教育(CPE)の全米公認スポンサーとして、全米州政府会計委員会(NASBA)に登録されています。各コースが CPE クレジットとして認定されるか否かの最終決定権は、州政府会計委員会にあります。最新情報については、NASBAのウェブサイト(www.nasbaregistry.org)より直接ご確認ください。

ムーディーズ・アナリティクスが選ばれる理由

最新かつ コンサル的

お客さまにヒヤリングし、お客さまの組織特有のニーズを把握した上で、スキル評価、プログラムの設計、実施、評価、および改良を含む、学習プログラムの設計から実施、パフォーマンス追跡に至るまで一貫して担います。

包括的な カバレッジ

当社は、お客さまの社員のニーズに合わせて組み合わせることができる、技術スキルとソフトスキルに関する多彩なプログラムを提供します。銀行、ファイナンス、セールス、フィンテック、交渉術、リーダー開発等の専門分野に対応しています。

比類なき 専門性

当社の講師陣は、高い研修効果を実現します。優れた学歴を有する当社の講師陣は、各分野における深い経験と知的情熱を融合させ、常に卓越した品質を提供すべく力を注いでいます。

お申込みはオンラインで

本プログラムにご興味いただけましたら、www.moodysanalytics.com/learningandcertificationsをご覧ください。

お客さまの組織に合わせて研修をカスタマイズ

ムーディーズ・アナリティクスは、お客さまが研修投資を最大限活かせるようにするため、研修およびeラーニング・ソリューションをカスタマイズして提供します。当社の実践的なアプローチは、スタッフ数名の企業から世界中に点在するスタッフを抱える企業まで、その規模や要件を問わず恩恵をもたらします。詳細をお知りになりたい場合や、お客さまの組織に最適なプログラムを設計するため、当社のトレーニング・コンサルタントへのご相談をご希望の場合には、お問い合わせください。

料金とキャンセル

記載の料金は、受講者一人当たりの料金で、軽食、昼食、セミナー資料が含まれています。セミナー料金には、税金、交通費、ホテル宿泊費は含まれていません。セミナーの開始前までに全額の支払いが必要となります。研修初日の30日前までに手紙またはEメールで書面にてキャンセルのお申し出があった場合には、全額を返金いたします。キャンセルのお申し出がeラーニング初日から30日を切った場合には、別のセミナーに振り替えることはできませんが、料金の返金は致しかねます。当社は、セミナーのキャンセルまたはスケジュール変更をいつでも行える権利を有しています。返金および苦情方針に関する詳細については、当社までお問い合わせください。

団体割引

複数のセミナーのお申込みまたは団体でのお申込みには、団体割引が適用できる場合があります。詳細については、お問い合わせください。

お問い合わせ

米州

TrainingAmericas@moodys.com

欧州・中東・アフリカ

TrainingEMEA@moodys.com

アジア

TrainingAsiaPac@moodys.com